

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公開番号】特開2005-181581(P2005-181581A)
 【公開日】平成17年7月7日(2005.7.7)
 【年通号数】公開・登録公報2005-026
 【出願番号】特願2003-420570(P2003-420570)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 21/00 (2006.01)

G 0 1 N 21/64 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 21/00

G 0 1 N 21/64 E

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月13日(2006.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レーザー光源と、

レーザー光源から射出される光ビームを標本に対して走査するための走査手段と、
 光ビームを標本内に収束させるための対物レンズと、
 光ビームの収束点に対して共役な位置に配置された共焦点ピンホールと、
 標本から発生し共焦点ピンホールを通過した蛍光のうち中心バンドの波長成分を検出する第一検出手段と、

標本から発生し共焦点ピンホールを通過した蛍光のうちサイドバンドの波長成分を検出する第二検出手段と、

レーザー光源から射出される光ビームの強度を変えると同時に、第一検出手段と第二検出手段で得られる情報に基づいて必要な測定情報を取得するための制御部とを備えている、レーザー走査型共焦点顕微鏡。

【請求項2】

請求項1において、制御部は、あらかじめ設定された値に従ってレーザー光源から射出される光ビームの強度を変える、レーザー走査型共焦点顕微鏡。

【請求項3】

請求項1において、制御部は、第一検出手段と第二検出手段で得られる情報に基づいて、レーザー光源から射出される光ビームの強度を変える、レーザー走査型共焦点顕微鏡。

【請求項4】

請求項1において、第一検出手段と第二検出手段は、標本から発生し共焦点ピンホールを通過した蛍光のビームを、中心バンドの波長成分の蛍光ビームとサイドバンドの波長成分の蛍光ビームとに分割するビームスプリッターを含み、第一検出手段は、中心バンドの波長成分の蛍光を検出する検出器を備え、第二検出手段は、サイドバンドの波長成分の蛍光を検出する検出器を備えている、レーザー走査型共焦点顕微鏡。

【請求項5】

請求項1において、第一検出手段と第二検出手段は、標本から発生し共焦点ピンホールを通過した蛍光を波長に従って分光する分光機構と、分光された特定の波長成分の蛍光を検

出する検出器と、検出器で検出される蛍光の波長成分を変更する波長変更手段とを備えている、レーザー走査型共焦点顕微鏡。